



Japan Society for Bioscience,
Biotechnology, and Agrochemistry

2013.10

会告

カレンダー・・・K-1
お知らせ・・・K-3
支部だより・・・K-6

CALENDAR カレンダー

会
告

期 日	講演・会合等名称(会場),《共催等》,太字=本会関連
2013年(平成25年)	
10/2(水)	食と生命のサイエンス・フォーラム(東大)《後援》
10/3~4(木~金)	第36回フッ素化学討論会(つくば)《共催》
10/4~8(金~火)	第10回アジア・太平洋キッチン・キトサン国際シンポジウム並びに第27回キッチン・キトサンシンポジウム(米子)《協賛》
10/5(土)	平成25年度日本農学会シンポジウム(東大)《後援》
10/5~7(土~月)	第57回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会(埼玉大)《共催》
10/9~11(水~金)	BioJapan 2013(横浜)《後援》
10/11(金)	公開講演会「大豆のはたらきin福岡一食を通して健やかな人生をー」(福岡)《協賛》
10/12(土)	日本農芸化学会中部支部第168回例会 ミニシンポジウム『ペプチド系抗生物質の生合成ーペプチド合成酵素の多様な触媒メカニズムー』および一般ポスター発表(名大)
10/14~18(月~金)	第18回国際窒素固定会議(18th International Congress on Nitrogen Fixation)(宮崎)《共催》
10/17~18(木~金)	日本食品免疫学会第9回学術大会(東大)
10/17~19(木~土)	第43回複素環化学討論会(岐阜)《共催》
10/18(金)	日本農芸化学会関東支部若手企画研究会 天然物化学研究会「天然物化学の潮流を読む」(東農大)
10/23~25(水~金)	アグロ・イノベーション2013(東京)《協賛》
10/25(金)	酵素工学研究会第70回講演会(東大)
10/25(金)	日本農芸化学会東北支部第14回若手の会(岩手)
10/26(土)	日本農芸化学会東北支部第148回大会(岩手大)
10/28~29(月~火)	The 2nd International Symposium on Chemical Biology of natural products: target ID and regulation of Bioactivity(横浜)《協賛》
10/31~11/1(木~金)	第60回界面科学部会秋季セミナー「化粧品,医薬品,食品製剤の最前線」(箱根)《協賛》
10/31~11/2(木~土)	第49回熱測定討論会(千葉工大)《共催》
11/1(金)	第7回多糖の未来フォーラム(阪府大)《共催》
11/1(金)	第22回腸内フローラシンポジウム(東京)
11/2(土)	第4回機能油脂懇話会(明大)
11/2~4(土~月)	第4回 Modern Solid Phase Peptide Synthesis & its Applications Symposium (SPPS 2013)(神戸)《協賛》
11/6~7(水~木)	第104回有機合成シンポジウム(早稲田大)《共催》
11/6~8(水~金)	第4回アジア太平洋国際ペプチドシンポジウム,第50回ペプチド討論会(大阪)《共催》
11/6~8(水~金)	第5回国際O-CHA学術会議(静岡)《後援》
11/7(木)	第19回名古屋メダルセミナー(名大)《協賛》
11/7~8(木~金)	第36回情報化学討論会(筑波大)《共催》
11/7~8(木~金)	第41回構造活性相関シンポジウム(関西学院大)《協賛》
11/7~8(木~金)	第12回食品レオロジー講習会ー初心者のための実習と基礎ー(東大)《協賛》
11/8(金)	第54回機器分析講習会(第3コース:食品を中心にした異物分析)(東京)《協賛》
11/9(土)	日本農芸化学会中部支部第169回例会若手シンポジウム『核酸科学の新潮流』(岐阜大)
11/9(土)	北里大学・北里生命科学研究所「第3回 Tishler-Omura 講演会」(北里大)
11/9~10(土~日)	第18回フードファクター学会学術集会(東農大)
11/12~13(火~水)	第58回リグニン討論会(高松)《共催》
11/12~14(火~木)	第52回NMR討論会(金沢)《共催》

期 日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》、太字＝本会関連
11/14～16（木～土）	第54回高圧討論会（新潟）《協賛》
11/15（金）	日本希土類学会第31回講演会（名古屋）《協賛》
11/15（金）	植物化学シンポジウム第50回記念大会（東大）《共催》
11/15（金）	日本油化学会オレオマテリアル部会セミナー—親水性ゲル化剤が切り開くオレオマテリアルの新展開—（東京理科大）《協賛》
11/15～16（金～土）	第46回酸化反応討論会（筑波大）《共催》
11/16～17（土～日）	第19回ヒ素シンポジウム（九大）《後援》
11/16～17（土～日）	2013年日本化学会中国四国支部大会（広島大）
11/20～21（水～木）	平成25年度後期（秋季）有機合成化学講習会（東京）《共催》
11/20～21（水～木）	第13回糸状菌分子生物学コンファレンス（つくば）
11/22（金）	電気化学会関東支部2013年関東支部セミナー「電気化学の生命科学・医療分野への応用」（農工大）《協賛》
11/22（金）	山口大学農学部及び共同獣医学部附属中高温微生物センター・シンポジウム（第5回）「地球温暖化に抗う生き物たちの戦略～生物の耐熱性・耐熱化メカニズム～」（山口大）
11/25～26（月～火）	第13回基準油脂分析試験法セミナー—新しい基準油脂分析試験法と最新分析法の紹介—（東京）《協賛》
11/27（水）	第30回医用高分子研究会講座～再生医療を支える高分子材料技術～（東大）《協賛》
11/29（金）	2013年度日本乳酸菌学会秋季セミナー「乳酸菌・ビフィズス菌利用研究の新たな展開」（東農大）
12/3～5（火～木）	第40回炭素材料学会年会（京都）《協賛》
12/5～6（木～金）	平成25年度室内環境学会学術大会（佐世保）《後援》
12/5～7（木～土）	第40回有機典型元素化学討論会（近畿大）《共催》
12/6（金）	薮田セミナー「生物間コミュニケーション研究の最前線」（浜松）《共催》
12/7日（土）	日本農芸化学会関西支部例会（第482回講演会）
12/7～8（土～日）	第50回好塩微生物研究会（鳥根大）
12/20～21（金～土）	第17回生体触媒化学シンポジウム（岡山理大）《共催》
12/22（日）	日本薬学会関東支部第38回学術講演会「難治性疾患に対する新規治療法を目指して」（東京）
2014年（平成26年）	
1/23～24（木～金）	第25回高分子ゲル研究討論会（東大）《協賛》
1/24～25（金～土）	第25回ビタミンE研究会（鳥取）
1/25（土）	第19回高専シンポジウム in 久留米「高専から発進！「科学技術・知の創造」」（久留米工高専）《協賛》
3/27～30（木～日）	日本農芸化学会2014年度（東京）大会

会員の拡充にぜひともご協力を!!

本会では、（一般会員：会費年額10,000円、シニア会員：会費年額8,000円、教育会員：会費年額6,000円、学生会員：会費年額6,000円）および（賛助会員：会費年額1口60,000円、団体会員：会費年間30,000円）の拡充を行っております。農芸化学に関係のある大学、官公庁、民間会社などの研究者、関係業務に従事して

いる方などがお知り合いにおられましたら、ぜひ本会への入会をご勧誘下さるようお願いいたします。入会の手続きなどの詳細につきましては、下記ホームページへアクセスして下さい。

◇URL <http://www.jsbba.or.jp/>

会費・購読料の納入にご協力下さい

本会会費・購読料のご納入につきまして

は、その年度の2月末に、納入のための振替用紙をお送りいたしております。会員の皆様は、この振替用紙を用い、会費・購読料をご納入下さいますようお願いいたします。

会費の未納は、学会誌などの送付・大会講演発表などに影響いたしますので、何卒速やかにご納入下さいますようお願い申し上げます。

農芸化学会 からの お知らせ

2014年度（平成26年度）大会のお知らせ

日本農芸化学会2014年度（平成26年度）大会を下記の予定で開催いたします。

会 期：2014年（平成26年）3月27日（木）～30日（日）

会 場：

【授賞式／受賞講演等】明治大学リバーティタワー（〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1, http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html）

【懇親会】京王プラザホテル（〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1, <http://www.keioplaza.co.jp/>）

【一般講演・展示会・シンポジウム・ラ

ンチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等】明治大学生田キャンパス（〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1, http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/ikuta/campus.html）

授賞式、受賞講演等、懇親会：2014年3月27日（木）

一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等：2014年3月28日（金）～30日（日）

一般講演申込（要旨投稿）WEB受付期間：2013年11月1日（金）～2013年12月6日（金）正午（予定）

大会参加申込WEB受付期間：2013年12

月6日（金）午後～2014年2月10日（月）（但 事前料金）（予定）

当日参加申込WEB受付期間：2014年3月3日（月）～2014年3月30日（日）（但 当日料金）（予定）

プログラム集（冊子体発行）：2014年2月25日（火）

講演要旨集（WEB上での公開）：2014年3月5日（水）

大会実行委員会：〔委員長〕正木春彦（東京大学大学院農学生命科学研究科）〔副委員長〕星野貴行，中島春紫〔総務〕渡邊秀典

数田セミナー

テーマ「生物間コミュニケーション研究の最前線」

日 時：2013年12月6日（金）13:15～16:45

場 所：アクトシティ浜松コンgresセンター 43～44会議室（浜松市中区板屋町111-1）

参加費：無料

主 催：日本農芸化学会

協 賛：日本農芸化学会中部支部，日本生物工学会中部支部，日本微生物生態学会，環境バイオテクノロジー学会，静岡大学食品・生物産業創出拠点，静岡化学工学懇話会

プログラム：13:15～ はじめに，13:20～14:00 野村暢彦（筑波大院・生命環境），「微生物間コミュニケーションを利用したバイオフィルム制御技術の開発」，14:00～14:30 二又 裕之（静岡大院・化学バイオ），「モデル微生物生態系におけるシステムの動的平衡と微生物間の相互作用」，14:30～15:10 大熊盛也（理化学研究所・JCM），「シロアリ腸内微生物群集の代謝機能と共生機構」，休憩，15:20～16:00 東原和成（東京大院・農学生命），「動物の異性間コミュニケー

ションに関わる分子と受容体の同定」，16:00～16:40 河岸洋和（静岡大院・農学），「キノコが引き起こす「フェアリーリング（妖精の輪）」の化学的解明とその農業への応用の可能性」，16:40～ おわりに

問合せ先：〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻 金原和秀
Tel & Fax. 053-478-1170
E-mail: tkkimba@ipc.shizuoka.ac.jp

本会推薦による賞・助成金情報

適任者がおられましたら奮ってご応募ください。本会授賞選考委員会で選考し、推薦いたします。

賞・助成の詳細につきましては、当募集団体ホームページをご覧ください。

また、本会ホームページの賞・助成金情報 (<http://www.jsbba.or.jp/info/grant/>) もご覧ください。

【賞】

○第26回(平成25年度)日本農業研究所賞(10/31締切)

対 象：わが国農業の発展のため、学術研究上顕著な功績を為した者(過去においてすでに国際的な賞、日本学士院賞などの大賞を受けた業績は対象外)

表 彰：賞状、賞金100万円

○平成25年度飯島藤十郎賞(11/6締切)

対 象：食品科学、特に米麦その他主要食糧を原料とする食品の素材、加工技術、品質、安全性、栄養、機能その他に関する学術上の研究および食品の技術開発に優れた業績が認められる活躍中の研究者または研究グループ

飯島藤十郎食品科学賞

対 象：上記に示す研究分野に関し、学術上特に優秀な研究業績をあげた研究者

褒 賞：賞状、賞牌、研究奨励金500万円

飯島藤十郎食品技術賞

対 象：上記に示す研究分野に関し、食品の技術開発において優れた業績をあげた研究者または研究グループ(企業研究者を含む)

褒 賞：賞状、賞牌、研究奨励金200万円

○森永奉仕会賞(11/29締切)

対 象：平成24年1月1日から同年12月末日までの期間内に発表された業績
研究課題：小児の栄養・健康、公衆衛生ならびにこれに関連する乳製品等の品質改善に関する調査・研究

【助成】

○森永奉仕会研究奨励金(11/29締切)

研究課題：小児の栄養・健康、公衆衛生ならびにこれに関連する乳製品等の品質改善に関する調査・研究

申請金額：自由(森永奉仕会が裁量のうえ交付)

《問い合わせ・応募先》〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル内 日本農芸化学会事務局授賞係
Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920
E-mail: shomu@jsbba.or.jp

2013年度後期 学校教育における農芸化学の普及活動補助の募集

日本農芸化学会広報委員会では、「小学校、中学校、高等学校など学校教育全般を対象とする、農芸化学に関するセミナー・講習会等開催補助の募集」を行います。

補助の対象：本学会の支部または会員個人(採択後に入会されても可)を開催世話人とし、支部単位の大きな企画から、会員個人が単独で行う企画まで、広い活動を補助の対象とします。

補助の目的：わが国では、少子化が進み、同時に若者の科学離れ・理科教育の危機が問題となっております。このような状況下において、日本農芸化学会においても「農芸化学」という社会に有用な優れた研究分野があることを、特に若い人に知ってもらいたいという考えから、小・中・高校生ならびに学校の教員を対象

に、現役の研究者が直接最新の学問的成果をやさしく解説し、知的興奮を味わってもらうことを目的としています。農芸化学の面白さ・楽しさ・奥の深さを知ってもらいような企画をお待ちしています。たとえば、小・中・高校生ならびに学校の教員を大学や企業の最新の研究施設に招き、バイオテクノロジーの最先端の実験に可能な範囲で参加してもらいなどの大きい企画から、大学の教員や大学院生、企業の研究員などが、小・中・高校へ出かけ簡単な授業をするなどの企画も応援します。また、年次大会、支部大会や支部例会に高校生の自然科学に関する課外活動の成果を発表していただく場を提供するなどの企画も歓迎します。

補助の額：1件につき20万円まで。補助金

の使途は、主に運営費とし、特に詳しい規定は設けていません。

応募方法：開催世話人が所定の申請書に必要事項を記入・押印し、期限までに本学会事務局広報係宛に郵送で提出して下さい。申請書は、学会ホームページ(http://www.jsbba.or.jp/science_edu/outreach/)よりダウンロードしてご利用ください。

応募締切：2013年10月31日(木)当日消印有効。

選 考：2013年11月頃。結果は、広報委員会にて審査後速やかに通知します。

報 告：補助を受けた開催責任者は、活動終了後、簡単な実施内容の報告と会計報告書を広報委員長宛にご提出いただきます。

講演会等の開催補助について

日本農芸化学会学術活動強化委員会では、会員を開催責任者とする、農芸化学および関連分野のセミナー・シンポジウム・講演会等の学術集会へ、下記の補助を行っております。補助をご希望の方は、shomu@jsbba.or.jp までご連絡ください。申請書をお送りいたします。お送りいただきました申請書は、学術活動強化委員会にて選考いたします。

		国際学術集会		藪田講演会・藪田セミナー	
カテゴリー		A-1) 外国人等講演会	A-2) 国際シンポジウム	B-1) 藪田講演会	B-2) 藪田セミナー
申請者		正会員			
補助対象		単数または少数の来日中の外国人研究者（外国在住の日本人を含む）の講演にかかる費用	比較的小規模の国際会議等の招聘外国人研究者の招聘および会議にかかる費用	本学会員以外の日本人研究者による個人講演会にかかる費用	日本人研究者数名によるセミナー、シンポジウムにかかる費用
補助内容	国内旅費	実費	実費（外国人等のみ）	実費	実費
	海外渡航費	不可	可（外国人等のみ）		
	宿泊費	1万円まで／泊（一泊以内）	1万円まで／泊（外国人等のみ）	1万円まで／泊（一泊以内）	1万円まで／泊（一泊以内）
	謝礼	2万円まで／人（20.42%の源泉所得税が課せられます）		2万円まで／人（10.21%の源泉所得税が課せられます）	
	その他	不可	ポスター、会場費、要旨代、アルバイト代等	不可	ポスター、会場費、要旨代、アルバイト代等
申請額目安 ^(注1)		2～5万円／件（1人あたり）	20～40万円／件（補助限度50万円／件）	2～5万円／件	5～40万円／件（補助限度50万円／件）
補助対象外		・他の団体が主催するセミナー等の経費の一部となるもの	・毎年あるいは隔年、連続して開催されるもの ・大規模（招聘渡航費以外が300万円以上）な国際会議の経費の一部となるもの	・他の団体が主催するセミナー等の経費の一部となるもの ・支部が開催補助すべきと判断されるもの	・毎年あるいは隔年、連続して開催されるもの ・他の団体が主催するセミナー等の経費の一部となるもの
申請締切		随時受付（ただし原則として開催1カ月前まで）	前期：4月30日 後期：10月31日 （原則として申請時より6カ月～2年後に開催されるもの）	随時受付（ただし原則として開催1カ月前まで）	前期：4月30日 後期：10月31日 （原則として申請時より6カ月～1年5カ月後に開催されるもの）

(注1) 遠方からの演者に対する旅費が高額になる場合は、上限以上の補助を認める場合がある。

※外国人等：外国在住の日本人を含む

問合せ先：日本農芸化学会事務局庶務係（Tel. 03-3811-8789, E-mail: shomu@jsbba.or.jp）

第41回研究奨励金交付候補者募集要項

対 象：農芸化学諸分野における意欲的な研究。1件1名としますが、共同研究者を含めても差し支えありません。

奨励金の金額：1件50万円以内、5件（総額250万円）

応募方法：所定の用紙（4ページ）に必要事項を記入のうえ、当財団あてに郵便にてご送付ください。推薦書は必要ありません。

応募の締切：平成25年10月31日（木）消印有効

奨励金の交付：平成25年12月

奨励金受領者の義務：

(1) 受領者は、奨励金の収支に関する書類を整理保管し、

平成27年4月末日までに、収支報告書を理事長宛に提出すること。

(2) 受領者は、平成27年4月末日までに研究報告を理事長宛に提出すること。

応募用紙の請求先および送付先：

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル2階

公益財団法人農芸化学研究奨励会事務局

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920

E-mail: soumu@jsbba.or.jp

小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さま、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

趣 旨：日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方に基づき研究する学問）にかかわる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

授業対象：小学生・中学生・高校生、教員の団体ほか

付帯事項：講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などはご準備いただきます）

授業時間：1～2コマ授業（1コマ45分）

授業形態：クラス単位（複数クラス可）

対象地区：日本全国（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州地区）

申込方法：申請書を郵送またはメール添付

（PDF）にてお申込み下さい。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

申請書請求・問合せ先：日本農芸化学会事務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789

E-mail: soumu@jsbba.or.jp

その他：申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

正会員（一般会員・シニア会員・教育会員）、学生会員各位へ 会費および購読料について

2013年度会費・購読料のご納入について、2013年3月、6月、11月に振替用紙をお送りいたします。また、口座引落（銀行・郵便）につきましては、2013年（平成25年）3月1日引落になっております。

《ご注意》2012年度（平成24年度）会費、購読料をご納入いただいていた会員の方には、2013年度会費との合計金額を印字した振替用紙をお送りいたします。

なお、会費が納められていない場合は入金を確認されるまで、学会誌の送本を一時停止しています。

○退会を希望される方へ

退会を希望される方は、文書（ハガキ、Fax [03-5803-9562, 会員係あて]、E-mail [kaiin@jsbba.or.jp]）で会員名・会員番号（ID）・簡単な退会理由を明記のうえ、退会届を出していただいております。なお、Webからも退会申請ができます。下記のURLを参照の上、お手続き下さい。

○会員関係問合せ先：Tel. 03-5803-9561

2013年度（平成25年度）会費および購読料

会員種別		会費(年)	BBB購読料(年)
正会員	一般会員	10,000円	8,400円
	シニア会員	8,000円	8,400円
	教育会員	6,000円	8,400円
学生会員		6,000円	5,560円
団体会員		30,000円	
賛助会員		1口60,000円	

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 新入会・登録情報変更などのURLについて

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
新規入会、登録情報確認・変更のURLは下記のとおりです。

登録情報を確認、変更される場合、会員ID（会員番号）とパスワードが必要です。

ご登録いただきました会員データに基づき学会誌の発送、会費・購読料の請求を

行っておりますが、登録データは外部に漏れることがないように十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web上では変更できない箇所も定めておりますので、E-mailまたはFaxでも受け付けております。

この際、登録内容をご確認いただき、E-mailなどご登録いただいていないようでしたら是非ご登録下さいますようご協力下さい。

さい。

[日本農芸化学会ホームページURL]

<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は「パスワード再発行」を行って下さい。取得されたパスワードを独自のパスワードに変更する場合は「パスワードの変更」で手続きすることができます。

《事務局会員係》Tel. 03-5803-9561, Fax. 03-5803-9562, E-mail: kaiin@jsbba.or.jp



支部だより

日本農芸化学会中部支部

第168回例会

『ペプチド系抗生物質の生合成—ペプチド合成酵素の多様な触媒メカニズム—』

日時：2013年10月12日（土）13:00～

会場：名古屋大学シンポジオン（名古屋市営地下鉄 名城線「名古屋大学」下車）

プログラム：○ミニシンポジウム：「ペプチドライゲーストリボソームによる協同的なペプチド新基合成機構の解明」大利徹（北大院・工）、「ホモポリアミノ酸およびホモオリゴアミノ酸を合成する新奇ペプチド合成酵素の反応メカニズム」濱野吉十

（福井県大・生物資源）

○一般ポスター発表

参加費：無料

懇親会費：一般2,000円、学生500円

詳細は支部ホームページ（<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>）にて

問合せ先：中部支部庶務幹事 邊見 久（名大院・生命農）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

Tel. 052-789-4134, Fax. 052-789-4120

E-mail: hhemmi@agr.nagoya-u.ac.jp

日本農芸化学会東北支部 第14回若手の会

開催日時：平成25年10月25日（金）

場所：繋温泉・清温荘

世話人：宮崎雅雄、山田美和、伊藤芳明

詳細は、決定次第支部ホームページ上でご案内いたします。

日本農芸化学会東北支部 第148回大会

開催日時：平成25年10月26日（土）

場所：岩手大学農学部

世話人：磯部公安（岩手大学農学部）

詳細は、決定次第支部ホームページ上でご案内いたします。

2013年度（平成25年） 日本農芸化学会 西日本支部奨励賞候補者募集

日本農芸化学会西日本支部では、本年度におきましても農芸化学の進歩に寄与した研究を顕彰する西日本支部奨励賞（一般：1件、学生：1件）を公募いたします。奮ってご応募ください。

応募資格：申請時に日本農芸化学会会員あるいは入会手続き中で、2013年度（平成25

年) 4月1日現在の時点で満37歳以下であり、主たる研究の場が西日本支部内であること。応募方法・応募申請書は支部ホームページ (<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west>) を参照のうえ、必要書類をダウンロードしてください。

応募締切: 2013年(平成25年)11月8日(金)まで

応募書類提出先: 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学大学院農学研究院生物化学分野内

日本農芸化学会西日本支部

Tel & Fax. 092-642-2854 (庶務幹事: 角田佳充)

**日本農芸化学会中部支部
第169回例会
若手シンポジウム
『核酸科学の新潮流』**

日時: 2013年11月9日(土) 13:30~

会場: 岐阜大学サテライトキャンパス (JR

岐阜駅から徒歩5分、名鉄岐阜駅から徒歩7分)

プログラム: 「ナノ構造化したRNA分子の機能創発」阿部 洋 (北海道大学大学院薬学研究院), 「DNAオリガミを利用した生体分子の動きの1分子観察」遠藤政幸 (京都大学物質・細胞統合システム拠点), 「mRNA前駆体選択的プロセッシングパターンの可視化による制御機構の解析」黒柳秀人 (東京医科歯科大学難治疾患研究所), 「小さなRNAが働くしくみ」泊 幸秀 (東京大学分子細胞生物学研究所)

参加費: 無料

懇親会費: 一般3,000円、学生無料(予定) 詳細は支部ホームページ (<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>) にて

問合せ先: 上野義仁 (岐阜大学応用生物科学部)

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

Tel. & Fax. 058-293-2919

E-mail: uenoy@gifu-u.ac.jp

**日本農芸化学会関西支部例会
(第482回講演会)**

開催日: 2013年12月7日(土)

会場: 神戸大学農学部 (神戸市灘区六甲台町1-1)

プログラム: 一般講演, 農芸化学奨励賞受賞講演: 「海洋生物由来の発光タンパク質に関する生物有機化学的研究」久世雅樹 (神戸大院・農)

講演申込締切: 2013年11月1日(金)

講演要旨締切: 2013年11月8日(金)

懇親会: 講演会終了後「さくら」にて開催
問合せ先: 神戸大学大学院農学研究科 水谷正治

Tel. 078-803-5885

E-mail: mizutani@gold.kobe-u.ac.jp

詳細は <http://www.kansai-jsbba.jp/> をご覧ください。

メールアドレス登録のお願い

本会では、メーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。

本会庶務係 (shomu@jsbba.or.jp) まで、氏名、登録用メールアドレス

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化通信によって外部からの盗聴を防いでおります。

会員の皆様へお知らせとお願い個人の賛助金(任意)に関する内規の制定と適用について

(公益社団)日本農芸化学会理事会

日本農芸化学会の財政は近年赤字基調となり、2001年度は約875万円(正会員1人当たり800円)、2002年度は約1,500万円(正会員1人当たり1,470円)の赤字を出しております。

このため2003年度第47回通常総会に会費値上げを提案いたしました。健全財政にするためには、会費収入、広告収入など収入増を図る努力とともに欧米の学会でみられるような善意の寄付金の受入れも大変重要です。

そこで、個人の賛助金に関する下記の内規を、2002年10月2日の理事会と全国評議員会の議を経て制定いたし

ました。2003年度から適用されます。

会員の皆様におかれましては、学会は会員が支えるものであるという原点にたちかえり、本年度も引き続きご協力下さいますようお願い申し上げます。

個人の賛助金(任意)に関する内規

第275回(2002年10月2日)理事会承認
第109回(2002年10月2日)全国評議員会承認

個人の賛助金(任意)に関し、以下のよう

1. 対象はご協力いただける正会員(一般会員・名誉会員・有功会員・シニア会員・教育会員)とする。

2. 賛助金は一口5,000円とし、一口以上を申し受ける。

3. いただいた賛助金は、定款第54条(寄付金の受領)の規定に基づき処理する。

4. この内規は2003年度(平成15年度)から適用する。

5. お振込み先: 振替口座 東京 00100-5-68187 社団法人日本農芸化学会

※郵便局備え付けの振替用紙をご利用いただいても結構です。

※通信欄にかならず「賛助金」とご記入下さい。